

県内の観光消費は、天候による振れもみられるが、地方創生のための交付金の後押しもあり底堅く推移している。県内観光地では、地域資源の魅力を向上させるとともに、効果的な情報発信によって集客力を高めたい

夏の千葉県観光はまずまずの賑わいを見せた。県が発表した夏の観光動向をみると、海水浴客（前年比▲5.9%）と観光客数（同▲3.3%）が減少したものの、宿泊客（+3.1%）とプール客（+4.3%）は増加した。海水浴はサメ目撃情報が相次ぎプールへ客が流れたとみられる。屋外観光施設は夏前半の猛暑が大きく影響した。

地域別にみると、ベイエリア・東葛と九十九里が前年を下回る一方で、北総と南房総が前年を上回り、明暗が分かれた。

前年割れした地域はサメと猛暑が影を落とした反面、前年超えの地域にはさまざまな努力の成果や恩恵があった。第1はインバウンド（北総・東葛の宿泊需要）。中国経済減速が伝えられる中であつても、訪日客消費に

足許悪影響はみられず、宿泊客数・単価、レストラン、免税販売とも堅調だった。関連業者は強気の姿勢を崩さず、オリンピックに向けてホテルの増床、改装等を計画通り遂行する方針にある。第2に政策効果（南房総の宿泊・北総の観光需要）。鴨川市では地方創生のための交付金活用で市内宿泊者向けのシャトルバス料金を期間限定（東京～鴨川間、通常時期は1,000円、15年6月1日～16年2月28日）で無料化した。先着1万5千人の枠が年内には終了する見込みなど、好評である。同市の観光施設では、娯楽設備（水族館）における3D技術を取り入れたクラゲの体験型展示施設のオープンも話題を呼んだ。北総では6月に圏央道神崎IC～大栄JCT間が開通した効果が続いた。北関東・東北方面から千葉県へのアクセスが向上したことは、成田ゆめ牧場や道の駅が賑う要因の一つとなった。第3は口コミやPR効果（南房総の一部海水浴需要など）。遊泳禁止措置がとられた長生（同▲25.7%減）、山武（同▲9.5%減）で海水浴客が減少した一方で、鴨川市は同38.2%増加した。鴨川市城崎海水浴場ではサメの影響が殆どなく透き通った海水と白い砂浜の美しさの魅力が「SNSを通じて」広がり、これまで少なかった若い女性客が増えた。また世界的旅行口コミサイトの国内テーマパークランキングで3位となった船橋市の公園では、その話題性が県内外から観光客を呼び込み、マスコミで取り上げられた以降は通常の土日の3倍となる入場者が押しかける日もみられた。

シルバーウィークも天候に恵まれてアクアラインの通行量が前年比+26%、富津館山道路が同+45%で県内観光地の入り込みは堅調だった。観光需要の基調について県内業者では「天候に左右される部分も小さくないが、総じて県内観光消費は底堅く推移している」「実質所得が前年比プラス化する中で、普段は節約していてもレジャーでは支出を惜しまないようなメリハリ消費が広がっている」などの見方が多い。

県内では、道の駅「季楽里あさひ」（旭市、10月17日開業）に続き「道の駅保田小学校」（鋸南町、同12月予定）と交流拠点のオープンが相次ぐ。また、今後小湊鐵道において観光トロッコ列車の運行が開始される予定である。鴨川の海岸や船橋の公園の例にみられるように、新事業やイベントの成否は、情報発信の成否と密接に関係するケースが多い。効果的・効率的な発信によって県内の地域資源の魅力が口コミ等で上手く広がり、各地の観光地が多くの人出で賑わうことを期待したい。（大村）

夏季観光入込状況(7/1～8/31)

|                | 観光・レクリエーション施設<br>39施設 (単位:人地点) |           |            | 海水浴客<br>64海水浴場(単位:人) |           |            | 宿泊施設<br>19施設(単位:人泊) |         |            |
|----------------|--------------------------------|-----------|------------|----------------------|-----------|------------|---------------------|---------|------------|
|                | H27                            | H26       | 前年比<br>(%) | H27                  | H26       | 前年比<br>(%) | H27                 | H26     | 前年比<br>(%) |
| 千葉県 (注2)       | 1,650,434                      | 1,707,239 | ▲ 3.3      | 1,502,000            | 1,596,000 | ▲ 5.9      | 482,509             | 467,989 | 3.1        |
| ベイエリア<br>東葛飾地域 | 569,644                        | 613,351   | ▲ 7.1      | 77,000               | 149,000   | ▲ 48.3     | 235,945             | 233,861 | 0.9        |
| 北総地域           | 209,564                        | 196,159   | 6.8        | 18,000               | 18,000    | 0.0        | 61,807              | 56,238  | 9.9        |
| 九十九里地域         | 271,099                        | 280,444   | ▲ 3.3      | 470,000              | 527,000   | ▲ 10.8     | 31,511              | 33,826  | ▲ 6.8      |
| 南房総地域          | 600,127                        | 617,285   | ▲ 2.8      | 938,000              | 903,000   | 3.9        | 153,246             | 144,064 | 6.4        |

(注) 1. 出所: 千葉県の公表資料を基に(株)ちばぎん総合研究所が作成  
 2. 調査対象施設の合計であり県全体の観光入込客数を示したものではない  
 3. 海水浴客は千人未満を四捨五入した数値。  
 ベイエリア東葛飾地域は今年から集計方法を改めたため、前年より約半減した